

20 幡 土 第405号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

幡 豆 町 長
渡 辺



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日頃より、当町の道路行政に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成20年9月19日国道企第37号で依頼のありました、「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」につきまして、別添のとおりご回答いたします。

ご賢察の上、よろしくお取り計らいください。

連絡先 幡豆町役場 土木課

電 話 0563-32-0122

FAX 0563-63-0138

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

愛知県幡豆郡幡豆町

- ・愛知県など車社会が進んだ地域では多くの道路特定財源が収められている。その税が県、市町村に配分されるわけであるが、多くの税を納める地域にはそれなりの道路整備予算が配分されることを望む。地方の道路整備は、道路整備特定財源の他、多くの一般財源を投入しているのが実情である。道路特定財源の一般財源化に対しては、使途が拡大される中で、抜本的な配分の見直しが必要と考える。
- ・町が欲する事業は国道、県道の整備が中心となる。町が整備することはできず、国、県にお願いすることになるが、結果的に国の方針に従い整備箇所が定められることが多いと感じる。地方の真の意見、要望を確実に吸い上げてもらうことが重要であると考え。
- ・産業集積地区の道路整備が優先されていると感じる。当地区のようにアクセスの整備の遅れから、産業誘致が進まない地区は多い。結局地域格差が広がり地方の発展が遅れてしまう結果となる。新たな道路中期計画の策定にあたっては、地域の活性化に向けた取り組みとして十分に配慮いただきたい。
- ・各地方、各市町村の中心部に向かう骨格道路の位置付けに対してしっかり国が関与することが必要と考える。骨格道路が位置付けられれば、各市町村の計画に対する戦略の立案につながり、道路整備の優先順位も必然と定まってくる。また、周辺地域との広域的な支援連携などを含めて、災害に強いまちづくりにも繋がることになる。

②-1 地域の現状と抱える課題

愛知県幡豆郡幡豆町

○現状 ●都市圏へのアクセス道路であり、東名高速道路などの高規格幹線道路にも直結する国道23号が整備中であり、この道路と町を結ぶアクセス道路である、衣浦蒲郡線、県道西尾幡豆線、県道幸田幡豆線などの整備が進められている。 ●国道23号、衣浦蒲郡線などの整備による東西幹線道路の強化に比べ、南北幹線道路の強化が遅れている。 ●地域高規格道路である名浜道路がH19.3月に調査区間に指定され、現在ルート、構造、整備手法などの調査が進められている。 ●幹線町道には歩道がない箇所が多くあり、交通の安全が確保されていない。特に、観光地を形成する海岸沿いの幹線道路である町道第16号線では利用者の安全性を確保するため、歩道を整備中である。 ●大型車の交通量が多い幹線町道の幅員が狭い箇所が多い。	○課題 ●未改良区間が多く残されており、早期整備が課題。 ●東西幹線道路へのアクセスにもなることから、南北幹線道路となる県道西尾幡豆線、県道幸田幡豆線の早期整備が課題。 ●国際的な交流、物流拠点である空港、港湾への主要なアクセス道路として期待され、早期に整備区間への指定、事業化が課題。 ●町道第16号線の早期整備を始め、歩行者等の安全を確保するための整備を促進することが課題。 ●円滑な交通機能を確保するための道路拡幅整備が必要。
--	---

②-2 地域の目指すべき将来像

幡豆町は、名古屋都市圏にあって、三河湾を望む西三河南部に位置し、山や海、河川など豊かな自然を生かすことで、生活、産業、文化の調和を図り、活力と元気のあるまちづくりを推進しているところであり、本町の将来像を「地域の恵みと豊かな暮らし、住民の元気を大切にするまち」と定めている。

○まちづくりの基本方針（道路関連事項）

●定住を支える魅力あふれる活気に満ちたまちづくり

- ・住環境の向上、産業の活性化を図るため、骨格道路の機能の強化を図るとともに、だれもが気軽に利用できる公共交通の充実に努める。
- ・豊かな自然景観と災害に強い地盤を生かした住環境の整備を図り、定住促進に努める。
- ・農業や漁業、商工業、観光などの連携を進め、自然や文化など魅力ある地域資源を生かし、地域産業の活性化を図る。
- ・新規産業の誘致・創出を図り、地域における雇用の創出に努める。

●快適に生活できる安全・安心なまちづくり

- ・地震や水害などの災害に対して広域的な役割を担える地域をめざし、災害に強いまちづくりを進める。
- ・増加傾向にある交通事故に対しては、関係機関と連携した交通安全対策の強化を図っていく。
- ・豊かな自然、快適な環境を守るために、行政のみならず、地域が一体となって、環境保全に取り組む。

●住民と行政の協働、地域の自立をめざす仕組みづくり

- ・地方分権時代に向けて自立した自治体となるため、また、多様化・複雑化する行政ニーズに対応するため、行財政改革を進め、効率的で計画的な行財政運営を目指す。
- ・厳しい財政状況の中、効率的、効果的に公共サービス・事業を実施していくため周辺市町とのよりよい広域行政を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

愛知県幡豆郡幡豆町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
国際競争力の強化のための交通サービスの向上	・ 名浜道路整備	・ 交流、物流拠点である空港、港湾へのアクセスの向上 ・ 企業誘致の推進	
地域活力の向上	・ 名浜道路整備 ・ 国道23号整備 ・ 衣浦蒲郡線整備 ・ 県道西尾幡豆線整備 ・ 県道幸田幡豆線整備	・ 都市圏へのアクセス強化 ・ 地場産業の活性化 ・ 企業誘致の推進 ・ 住環境の向上、定住促進 ・ 観光産業の振興	
大規模な地震、火災に強い国土づくり等	・ 名浜道路整備 ・ 国道23号整備 ・ 衣浦蒲郡線整備 ・ 県道西尾幡豆線整備 ・ 県道幸田幡豆線整備	・ 大規模災害時の救援対応道路としての機能強化（避難路、緊急物資輸送） ・ 災害時における広域連携の強化	
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・ 町道第16号線整備	・ 歩行者等利用者への交通安全対策 ・ 円滑な交通機能の拡充	